

本科2年の皆さん、おはようございます。今日から2021年度となり、それぞれが進級し、新たな気持ちで登校してくれたことと思います。昨年1年間は、新型コロナウイルス感染症対策のため、いろいろな制約があり、窮屈な1年間でした。そして、新型コロナウイルス感染症は日本で、世界中でまだまだ拡大しています。これまでの日本の感染者数は49万人、亡くなった方は9000人を超えました。全世界の感染者数は1億3000万人を超え、死亡者数は300万人を超えています。ワクチンの接種もなかなか進まず、東京と首都圏エリアでは陽性者の数は減らず、非常事態宣言を解除した大阪や兵庫では再び拡大していることを考えると、私たちは油断することなく感染防止に努めることが求められます。感染防止に対しては自分や家族の生命と健康を守るだけでなく、友達や学校を守ることであることをきちんと理解して日々感染防止を怠らないで下さい。

この感染症の拡大を目の当たりにして、現代の人々の活動や経済がいかに国境を越えたものとなっているのかを、皆さんも理解したのではないのでしょうか。オリンピック・パラリンピックが1年延期され、今年の開催も混とんとしているのを見ても分かると思います。

この危機の特徴は、世界各地で同時に起きているということです。オリンピック・パラリンピックには外国からの観客は受け入れないことがすでに発表されました。世界中の国が鎖国状態になっています。どうすれば食い止めることが出来るのかが見えない中で不安が広がっています。ここで、君たちに理解して欲しいのは、この感染の拡大は自然現象ではなく、一人一人の行動を通して、世界全体に大きく広がる社会現象だということです。君たちがやらねばならないことは、自分の行動を変えることです。一つ一つの行動において、自分だけでなく他の人を意識する必要があります。すべての人々が地球の市民としての責任を自覚することが大切です。これまでも言ってきたように、このコロナ禍において君たちが前向きに努力し、いろいろな面で成長してくれることを期待します。

3月の修了式では、“Knowledge is power”、「知識は力なり」とい話をしました。知識がなければ知識のある人間にいいようにこき使われることにつながると言いました。また、ルワンダのマリアさんの「命に次に大切なのは学ぶこと」という話もしました。学校で学ぶことの大切さ、学べる有難さをもう一度思い出して下さい。最後に、「高校2年生の中だるみ」という話をします。高校2年

生は中だるみという言葉で置き換えられます。いろんなことに熱中したり、変に大人に逆らって勉強しなくなることを言います。

高校2年生という言葉聞いて、何を連想しますか。高校2年生は、いろんなことで学校全体の中心学年となります。生徒会活動も部活動でも中心的役割を果たします。学業をそっちのけにして、部活動や趣味や恋愛に熱中するからです。16歳～17歳という年齢は青年心理学的には思春期とか反抗期と言われ、体と心のアンバランスが生じたり、学校生活を通して、様々な矛盾や理不尽さと戦いながら大人社会を垣間見て嫌悪感を覚えたり、逆に憧れたりしながら、日々多種多様なストレスや不安や不満を抱え込み、反抗的態度となったり、適応できずに学校に来るのを拒否したり、親や大人に反抗したりします。今話たことは全て私の50年前に当てはまります。高校2年で彼女ができました。そのことで親に叱られ家出もしました。生徒会の体育委員長になりました。部活動の陸上競技で県の記録を作りました。親への反抗心が強くなりました。成績はどんどん落ちました。君たちの多くも、きっと、同じような経験をすると思います。でも、それが普通なのです。本科の青春謳歌型、部活熱中型、マイペース型が一番色濃く出るのは高校2

年生なのです。大人になるステップと思って、しっかり高校2年生を楽しんで下さい。ただ、一つだけアドバイスします。さきほどのいろんなことに熱中しすぎて、学業を全くやらなかったり、怠けすぎると、3年生になって気持ちを入れ替えて、さあ大学合格に向けて頑張るぞと気合を入れても学力は戻ってきません。目指す大学に合格することは出来ません。ですから、いろんなことに熱中しながらも、学業は適度にやらないと、一生取り返しのつかないことになってしまうということは覚えておいて下さい。中だるみの高校2年生、大いに結構です。積極的に中だるみをしてください。但し、学業は中だるみでも、自分が打ち込もうと思ったことや、いろんな体験にとことん、健康で真面目に努力しないと、大人への成長にはつながりません。以上、君たちが、高校2年生という時期を楽しみながら自分の成長に繋げてくれることを期待して、始業式の式辞とします。